

大人になってから出合った言葉

「センス・オブ・ワンダー」
不思議（ワンダー）に思う心・気持ち（センス）。
日常生活における事象全てにおいて、表面的なことだけでなくその奥深くまで、感情に左右されることなく一旦立ち止まり「なぜ？どうして？」と考える余裕があったら。考えたところで一つの答えにたどり着かないかもしれない。でもまた考える。繰り返し自己内対話を行う中で、自己の考えが少しずつ広がっていく。この言葉にもっと若い時に出会いたかったと思う。

「努力したけれども良い結果が出ないこと、このことへの向き合い方が非常に大事である。」と、誰かが言っていた。努力した事実が確かであれば、良い結果がでない状況は「経験」となり、「学び」の機会となる。今は結果が出ない状況を良い方向へ向けるためにどうするのか考える機会、「なぜ？」「どうして？」高校生時代は正にこの貴重な機会なのだと思う。

私はもう高校時代には戻れない。でも、高校生活を送る生徒と共にこの機会を過ごすことができる。「物事を捉える、考える」センスは、いつも磨いておきたいと思う今日この頃です。
(渉外部主任 久保)

生活コース校外学習（11月8日）

11月8日（金）に生活コースで校外学習が行われました。歩いて鮫駅に行き、電車に乗って八戸駅まで移動しました。車窓の景色を見てみんな笑顔で楽しそうでした。

八戸駅では、新幹線ホームで東北新幹線を見たり、ユートリーで三社大祭の山車の前で写真を撮ったりしました。昼食は、バスで八食センターに行き、自分で好きな弁当や惣菜を選んで食べました。学年をまたいだ仲間との活動や公共の交通機関や施設の利用等とても良い経験をする事ができました。
(松倉)



産業科2学年 修学旅行（12月5日～8日）

産業科2年生が関西方面に行ってきました。
1日目…新幹線で京都まで、ウノ等のゲームをしながら、楽しく移動しました。「八つ橋庵としゅうやかた」では、生八つ橋を作る体験をしました。つくりたての強いニッキの香りを味わいました。金閣寺見学では、本当に建物が金色なことにみんな驚いていました。日頃の行いが良かったため、水面にはっきり映った金閣寺を見ることができました。めったにないことだそうです。

2日目…京都の東山総合支援学校と交流しました。本校は自作のパンフレットを使って鮫地区の地域紹介を行い、東山の生徒の皆さんには清水寺の観光案内をしていただきました。クイズを交えた観光案内はとても楽しかったです。午後は自主研修で京都を満喫しました。

3日目…USJで、いろいろな乗り物に乗ったり買い物を楽しんだりしました。

4日目…通天閣を見学してから道頓堀に行き、グリコの看板の前で写真を撮りました。

天気にも恵まれて、最高の修学旅行となりましたよ。
(中村聡)



せんべい焼き体験（12月6日）

普通科1年5組、6組では、種差少年自然の家から2名の講師を招き、せんべい焼き体験を行いました。小麦粉に少しずつ水を加えてこねて生地を作り、ごま、桜エビ、ピーナッツ、柿の種からトッピングを選び、せんべい焼き器を使って焼きました。初めてせんべい焼きをした生徒がほとんどでしたが、「30秒たったらひっくり返す」を繰り返すこと6回。オリジナルで美味しいせんべいが焼き上がっていました。おいしく、たのしい体験をすることができました。
(浦田)



おらせ



- 12月21日（土）～1月13日（月）は冬季休業日です。
- 新年の授業は1月14日（火）に始まります。給食なしの12:00です。
- 体調を整えるには、規則正しい生活と継続した運動が大切です。
- 年末年始は気持ちが大きくなりがちです。インターネットのトラブルにならないよう、慎重に使いましょう。